

# 草の根「国際貢献」の輪 広げよう

# NGOがサミット

## 岡山で 来月 救援医療で意見交換

33カ国・地域から



ハンガリー人のチャリティー難民キャンプで子供に駆虫剤を飲ませるAMD Aの日本人医師（AMD A提供）

## 技術訓練も実施

内戦のルワンダやソマリアなどへ医師らを派遣している日本のNGO（非政府組織）や自治体が、アジアやアフリカの難民救済団体などに呼びかけて初めての「国際貢献NGOサミット」を十月に岡山で開く。世界三十三カ国・地域からNGOや赤十字の代表らが出席する予定で、戦争や自然災害にあった人々への緊急救援医療について話し合うほか、現地で役立つ医療技術の訓練なども実施する。会議は今後、毎年継続して開催し、草の根の国際貢献の輪を広げていく計画だ。

この会議は、アジアやアフリカで地域紛争や自然災害による難民の治療などに従事しているアジア医師連絡協議会（AMD A、本部、岡山市）などが主催。外務省や厚生省、岡山県、地元医師会などが後援して十月二十日から二十二日まで同市を本会場とし、二十四日と二十六日に

洋地域の西サモア、欧州の旧ユーゴスラビアからも来日し、合計三十三カ国・地域、約五十人が出席の予定だ。

初日の二十日は開会式の後、作家の瀬戸内寂聴さんが基調講演。二日目は九日、「緊急救援NGOフォーラム」を開く。同フォーラムでは、日本をはじめとするAMD Aのメンバーや各国のNGO代表、世界保健機

関（WHO）関係者らが緊急救援医療のあり方を議論したり、具体的方法や経験について情報交換する。

また、三日目の二十二日はWHOの人道援助部門に属する専門家が、現地で欠かせない適正医療技術の講習を実施、「岡山宣言」を発表する。このほか、二十四日に倉敷や広島、那覇などでサテライト会議を開き、二十

十六日には、締めくくりにして東京でも「緊急救援NGOフォーラム」を開催、「東京宣言」

出さしに読者あり  
秋の月  
263-3000

を出す。

日本で国際貢献をテーマにしたNGOの国際会議が開かれるのは初めて。AMD Aでは「会

議は毎年開き、救援に向かう側のNGOと現地のNGOとのネットワークを作って、何かあったときにすぐに動ける態勢を築きたい」（菅波茂代表）と話している。